

質 問 回 答 書

2024 年 2 月 1 日

「モンゴル国エネルギー・トランジション促進に係る情報収集・確認調査(QCBSーランプサム型)」
(公示日:2024 年 1 月 17 日/調達管理番号:23a00818)について、質問と回答は以下の通りです。

1	第 2 章、第 4 条(9)モンゴル現地でのビジネスツアーの実施	現地ビジネスツアーの参加者のうち、有識者は JICA 負担とのことですが、本邦企業からの参加については自己負担ということでしょうか。	有識者・本邦企業合わせて約 5 名を対象とし、どちらも JICA が負担します。
2	第 2 章、第 4 条(5)、(11)本邦招聘	実施期間中に計 3 回の本邦招聘が予定されておりますが、それぞれ何名の参加を想定されておりますでしょうか。	招聘一回あたり 5 名×5 泊、3 回とも同様規模を想定しています。
3	第 2 章、第 5 条 報告書等	インテリムレポート(1)(2)はそれぞれ第一次現地調査、第二次現地調査終了後の 2 週間以内での提出とありますが、一方でインテリム(1)は、第 2 章第 4 条の調査内容(2)～(5)の結果を整理したのちと指定されています。(4)エネルギー需要予測や(5)本邦招へいなどは、第一次現地調査後直ちに完了する性質のものではなく、タイミングに無理があるように見えます。また、インテリム(2)も同様に第二次現地調査完了後に提出する性質のものではないように思えますが、これらのレポートの提出調査時期は、第一次、第二次という現地調査の回数ではな	インテリムレポート(1)(2)はそれぞれ第一次現地調査、第二次現地調査終了後の 2 週間以内での提出として期限を設定していますが、期限内に提出が難しい場合、契約交渉を含め JICA との協議の上、調整することは可能です。

		く、業務の進捗に応じてある程度の自由度を勘案してもらえるのでしょうか。	
4	第3章、2. (2)業務量目途	「本邦招へい(計 3 回分)に関する業務(0. 3 人月)」とありますが、国内でカウントすると全部で6人日となります。これは3回分合計で6人日、つまり招へい1回あたり2人日と想定されているということでしょうか。	本邦へ招へいた期間中の同行は 1 回あたり 2 日間(0.1MM)のみを想定しています。
5	第3章、2. (3)現地再委託	現地再委託可能な業務内容の記載がありますが、複数のロットに小分けしても問題ないでしょうか。	問題ありません。

1月24日以降

6	第4章(6)インテリムレポート	「21 世紀後半にカーボンニュートラルを達成するために必要な新技術導入のロードマップ素案を作成し、」とありますが、ロードマップの目標年度は需要想定と同様に2050年と考えてよいでしょうか。	ご指摘の通りです。
7	同インテリムレポート(2)	「開発ニーズの高い」とありますが、「低炭素化に効果の高いエネルギー・トランジション」と読み替えてもよろしいでしょうか？ 本業務は技術開発がテーマではなく、モンゴルのエネルギープロフィールの実態調査に基づく、エネルギーポートフォリオ(エネルギー構成)の移行計画(ロードマップ)立案と理解しています。	前者については、問題ありません。 後者については、ご理解のとおりです。

8	第3条(3)本邦技術、知見の活用に関する分析	脱炭素化技術に新型原子炉が含まれていますが、今後の技術導入調査等で他技術とは別枠になりそうですが提案に含めて良いでしょうか？	問題ありません。将来的にマスタープランに含める可能性もゼロではないと認識しています。
---	------------------------	--	--

以上